

ぼくの大切なかぞく

二年 望月瑛斗

ぼくの家では、ハムスターを飼っています。男の子のハムスターで、名まえは「くう」です。色は白色です。となりの家の人にももらいました。

ぼくが、くうのお世わをしています。一日一回、ごはんを入れて、お水もかえてあげています。すきなおやつは、チキンチユロスです。くうは、ごはんやおやつを口の中にたくさんつめこんで、自分のへやにかくしています。キャベツやさつまいもをあげるととてもよろこびます。たべてるすがたはすごくかわいいです。

ハムスターは、夜行せいで、夜になると活どうします。ぼくが朝おきる時にねます。だから、おきてるくうに会えるのはたまにです。学校からかえってきたときや、夜ねる前にくうがおきていたら、ゲージから出してあげていっしょにあそびます。うでや足のうえにのせてあげるとちよこちよこあるいてくすぐったいです。

くうがねている時に、水をかえたり、ごはんを入れようとすると、おきてしまうことがあります。ハムスターは、もぐるのがすきでうちではかみざいをしています。だからおこすとかみの中からおおだけちよこんとだします。くうはちよつとめいわくそうだけど、それがちよつとかわいくみえます。

ぼくも、ぼくのかぞくも、くうのことが大好きです。くうは、ぼくの大切なかぞくです。これからも一生けんめいお世わをして、いっしょにあそんでくうとの時間を大切にしていきたいです。